

教職員自主的研究推進事業 実績報告書

研究グループ名【 川西市算数研究会 】

代 表 者 の所属・ 職・氏名	川西市立緑台学校	連 絡 先	住所	川西市向陽台 1－7－1
	教諭・野山 仁実		T E L	0 7 2－7 9 3－0 0 3 3
			F A X	0 7 2－7 9 3－7 1 4 8
			e-mail アドレス	hh1320@kawanishi-hyg. ed. jp

活動実績

研究テーマ

「子どもと創る算数学習」 ～子どもが考える力をのばす算数授業～

研究の概要

月 日	会 場	参加 人数	研 究 内 容
5 月 19 日	中央公民館	5 人	研究テーマの確認、年間計画の作成
6 月 17 日	緑台小学校	10 人	顔合わせ、指導案検討
8 月 1 日	緑台小学校	15 人	市内合同研修会「子どもが考えたくなる 伝えたくなる算数授業の作り方」 ～子どものこころにひびき、学びのある授業を～ 講師： 元川西市立牧の台小学校教諭（現大学准教授） 成果： 子どもが主体的に算数を楽しみ、学びを深めるために、数字の面白さを身近に感じさせる工夫や、具体的な実践を学ぶことができた。算数が嫌いな子どもでも楽しいと感じられるようなクイズもあり、2 学期からの授業で是非実践したいとの感想が多くあった。後に、講師の先生が大学の講義で学生の教科書にしている書籍「数の世界の冒険」を本研究会で購入した。
8 月 3 日	岐阜大学教育学部附属小学校	3 人	第 9 8 回全国算数・数学教育研究大会 学習指導法分科会 レポート発表 成果： 子ども自身が問題意識を持ち、思考を凝らして仲間と学び合う授業を目指して実践してきたことを報告する機会となった。分科会参加者からは、授業展開にまつわる細かなご意見もいただき、学びを深めることができた。
8 月 27 日	大阪教育大学附属池田小学校	2 人	授業公開 1 年「おおきさくらべ」 成果： 1 年生から 6 年生までの授業があり、本会からは 1 名が

			1年生で授業を公開した。全参加者は約500名で、事後の協議会にも多数参加があり、学びの多い研究会となった。 いくつ分という基準でそろえて数えることで長さが比べられることを児童は理解できていた。参会者の方の多くが1年生の担任をされていて、2学期最初の单元なので是非実践したいとワークシートの問い合わせを多数いただいた。
9月30日	緑台小学校	12人	1学期を終えての反省と今後の取り組み 個人レポートの交流 1学期を終えて、本研究会員の算数の取り組みや悩んでいることをレポート形式で報告し、意見交流した。 成果： 普段はなかなか言えない本音を交わし合うことで、糸口が見えることもあった。今後の研究会の取り組みとして続けていきたい。
10月21日	久代小学校	4人	授業公開 4年「面積」 成果： 「広さ」が比べたいものとして子どもたちに見えてくる状況を作り、単位正方形が見えやすい図を提示することで、その正方形の数を数える良さを感じさせることができた。説明活動を通して、個人の思考がグループ、クラス全体へと広がり、学びが深まる授業であった。
1月31日	緑台小学校	10人	授業公開 6年「見積もりを使って」 講師：同志社小学校 教諭 成果： 今までの学習を使つての総合問題に取り組むにあたり、全体で確認しておくべきポイントを絞り、見積もり方を工夫しやすいようにキーワードを設定するなどの教師の手立てが生かされていた。正確に計算することに慣れている子どもたちにとっては、見積もりの目的がないと取り組みにくいと、場面設定を現実的なものにしたことも子どもたちの意欲につながった。 講師の先生から、子どもの思考を解決に導く声掛けの仕方や、説明活動のポイントなどを詳しく聞くことができた。
2月4日	久代小学校	6人	研修会「数学的に考える力を育む授業デザインのあり方」 講師：加東市立福田小学校 教諭 成果：

			6年生の「量の単位」の導入で使えるような単位の漢字クイズから始まり、新学習指導要領で提示される「数学的に考える力」について詳しく解説していただいた。また、実践事例を通して、算数授業をどうデザインするかという視点についても教えていただくことができた。最後には、割合の単元の導入について、グループで授業を実際に考える中で、子どもが難しいと感じるポイントをどのようにクリアにしていくか、活発な意見交流が行われた。約3時間の研修会であったが、終了後も意欲的に講師の先生に質問をする先生も多かった。今後も教材研究力、授業力を追求できる研修会を行っていきたい。
--	--	--	---